

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースが確保されている。	適切な支援の提供	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの課題に合わせて個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。	保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に不明なところが無い様に丁寧に説明を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している。		17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、一日の流れや注意事項について確認している。		31 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者等には時間をとって支援内容及び必要理由を説明し、同意を得た上で実行している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			玄関の段差を無くし、トイレの手すりの設置を行う等配慮を行っている。		18 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用後の送迎がある為、支援サービス提供時間後の振り返りは困難な為、月に1、2度スタッフ会議を行い支援の振り返り、改善に繋げている。		32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時だけでなく、必要に応じて時間を設けて相談を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よくさせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			活動毎に場所の区別がつかうレイアウトに配慮している。		19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は一人だけでなく、関わった職員が気付いた事等を記入する様心がけている。		33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			前年度に保護者参加の親睦会を実施している。今年度は行っていないが、次年度からの開催を予定している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○			業務の改善を毎朝のミーティングや職員会議等で広く職員の意思を反映させられる様な環境を作っている。	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に現場職員の意見を聞き評価を行っている。	34 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談等の申し入れに対しての体制は整備しており、保護者へは周知している。出来だけ迅速に対応できるよう心がけている。		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度より保護者等に向けてアンケートを行っている。今後、保護者等の意向に対して検討し、業務改善に繋げていきたい。	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			児童発達だけでなく、必要であればその児童の状況に詳しい者が参加している。	35 定期的に日報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、事業所での活動や連絡事項を掲載したお便り発行し、保護者等に配布している。		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の年会報やホームページ等で公開しているか	○			前年度の放課後等デイサービス事業の自己評価結果に加え、児童発達支援事業も本年度中にホームページに掲載していく。	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			相談事業所が関わっている児童については定期的な連絡や必要と思われる事があればその都度連絡をとっている。	36 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			取扱いは保護者同意の元、事業所または必要に応じて関係機関のみでの利用としている。		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価は行っていないが、業務改善の為今後実施していきたい。	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			移行支援を行うケースがこれまで無かったが、必要になれば連携をとっている。	37 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時の他、連絡ノートを用意し情報伝達の方法の一つとしている。		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員には積極的に外部研修を受講する機会を作っている。また、職員会議内においても研修の機会を設けている。	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			公的機関も含めた見守りの必要な家庭に対しては小学校も含めた関係機関でケース会議を行い、情報の共有を行っている。	38 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域住民との交流はあまり無く、今後の課題である。行事には近隣の商店等に協力を頂いている。		
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントに基づいた計画作成を行っている。	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター開催の研修を受講し、職員のスキルアップを図っている。	39 緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			策定し、職員へ周知している他、緊急時対応マニュアルは玄関に掲示し、外部の者も自由に閲覧出来る様になっている。保護者に対しては周知が不十分である為、今後機会を作っていく。		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			研修等で学んだアセスメントツールを活用している。	26 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			障がいの無い、児童がボランティアとして訪問し、交流を行っている。	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防法に則り、年に2回の防災訓練を実施している。		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を作成している。	27 (地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している。	41 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			利用開始時や健康状態に変化がある度に保護者を通して児童の状況を把握している。		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画に沿って支援を行っている。	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の他、定期的に面談を実施し、情報の共有と課題の共通理解が持てるよう配慮している。	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始時に保護者からの聞き取りを元に対応している。		
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案に際しては複数の職員で検討している。	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングという形態はとっていないが、保護者等が事業所を訪問し言語聴覚士からアドバイスを受ける機会を設けている。	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告は返信し、必要に応じて職員会議内で改善に向けた話し合いを行っている。		
	15 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			プログラムの評価を行い改善している。積極的に新しいプログラムも取り入れている。					44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員に対しては日々のミーティングの中で虐待の防止への意識付けを行っている。次年度実施される虐待に関する研修の参加を予定している。			
											45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在まで身体拘束を行った事は無いが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み進めていく。		